

andF 教室 vol.20

ともに学び、ともに考える

直島で対話型鑑賞を 体感してみませんか

学校教育や企業教育でも注目されている対話型鑑賞は、作品を観ながらその場で感想や意見などの対話を通して気づきや思考を深めていただくプログラムです。事前準備やアートに関する知識は必要ありません。世界から注目されているアートの島・直島で対話型鑑賞を体験してみませんか。アートに興味がない方も大歓迎です。

日時 2023/ 8 /20 (日) 10 : 15~12 : 15

会場 ベネッセハウス ミュージアム(直島)

定員 15 名(参加無料・先着順)

※定員に達した場合は受付を終了させていただきます。

※当日は現地集合、現地解散です。

※参加無料ですが、ベネッセハウスミュージアムの鑑賞料 1300 円(ヴァレーギャラリー鑑賞料含む)が必要です。ただし、15 歳以下とベネッセハウスにご宿泊のお客さまは無料。

※対話型鑑賞プログラム費用は当財団が負担します。

協力/ ベネッセアートサイト直島

【お申し込み方法】

下記 URL 又は右記二次元バーコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/rhHaPmoEVDkQu9Bf7>



開催日

2023/ 8 /20 (日)

10 : 00~ 受付

10 : 15~ 開始

10 : 20~

鑑賞ワークショップ

12 : 15~ 終了



講師

藤原綾乃氏

公益財団法人 福武財団
早稲田大学 理工学部 建築学科卒。
2010 年 公益財団法人 福武財団に入職、ベネッセアートサイト直島で展開する美術施設の鑑賞プログラムに対話型鑑賞を導入。2018 年よりエデュケーションを担当し、幼児からシニア層までを対象にした学びのコンテンツ開発や、ファシリテーター育成に従事。主に学校向け教育プログラムや組織内外の企業向け研修にて対話型鑑賞を活用し、美術作品の鑑賞を通じて自己や他者に気づく内省体験や社会課題について思考するプログラムを目指し実践中。

お問い合わせ先

公益財団法人

福武教育文化振興財団

岡山市北区広瀬町 1 番 5 号

Tel/086-221-5254

mail/eczaidan@fukutake.co.jp

参考：

岡山駅から宇野港までのアクセス

- ▼JR
(JR マリンライナー)岡山駅発 8 : 24→08:38 茶屋町駅着(宇野線に乗り換え) 8 : 41 発→9 : 10 宇野駅着
- ▼フェリー
宇野港発 09:22→09:42 宮浦港着(四国汽船)

直島島内のアクセス

9:45 宮浦港→9:58 つつじ荘 (町営バス) 10:05 つつじ荘→10:08 ベネッセハウス ミュージアム (ベネッセアートサイト直島 場内無料シャトルバス)
 ※ベネッセハウスご宿泊の方を除いて、自動車および自転車の乗り入れはご遠慮いただいております。

ベネッセハウス ミュージアム 香川県香川郡直島町 琴弾地

町営バスルート

- ベネッセアートサイト直島場内シャトルバス(無料)
- A 地中美術館チケットセンター ↑ 10分 乗車 2分
- B 李馬煥美術館 ヴァレーギャラリー前 ↑ 10分 乗車 2分
- C ベネッセハウスミュージアム ↑ 10分 乗車 2分
- D ベネッセハウスパーク 杉本博司ギャラリー ↑ 6分 乗車 2分
- E つつじ荘 ↑ 25分 乗車 6分
- F 直島(本村)港 農協前

屋外作品

1 草間彌生「南瓜」2022	☆12 ウォルター・デ・マリア「見えて/見えず 知って/知れず」2000
2 カレル・アペル「かえると猫」1990	13 杉本博司「タイム・エクスポーズド ミルトア海 スーニオン」1990
3 ニキ・ド・サンファール「会話」1991	14 大竹伸朗「シップヤード・ワークス 切断された船首」1990
4 ニキ・ド・サンファール「らくた」1991	15 ジョージ・リッキー「フォー・ラインズ」1978-88
5 ニキ・ド・サンファール「象」1991	☆16 ベネッセハウスミュージアム「三枚の正方形」1972-82
6 ニキ・ド・サンファール「猫」1991	☆17 禁園強「文化大浴場 直島のためのプロジェクト」1998
7 ニキ・ド・サンファール「腰掛」1989	18 杉本博司「タイム・エクスポーズド カリブ海、ユカタン」1990
☆8 ダン・グラハム「平面によって2分割された円筒」1995	☆19 小沢剛「スラグブリダ88—直島の産業廃棄物処理後のスラグで作られた88体の仏」2006/2022
9 アンソニー・カロ「Final Call」1988	20 草間彌生「ナルシスの庭」1966/2022
10 ジョージ・リッキー「三枚の正方形」1972-82	21 三島喜美代「もうひとつの再生 2005-N」2001-2005
☆11 片瀬和夫「茶のめ」1987-94	

※つつじ荘近くの東ゲートから李馬煥美術館近くの北ゲートまではベネッセアートサイト直島の私有地エリアです。ベネッセハウス宿泊者以外の車両(自転車を含む)の乗り入れはご遠慮ください。
 ベネッセハウス周辺は屋外作品をみながらの徒歩での移動がおすすめです。
 ※オーパル・パーク・ビーチはご宿泊のお客様専用エリアです。杉本博司ギャラリーご鑑賞の方(事前予約制)はパークへご入館いただけます(但し、客室は除く)。
 ※エリア内での飲食やボール遊びなどはご遠慮ください。

(ベネッセアートサイト直島 <https://benesse-artsite.jp/>より)

andF とは…財団を身近に感じていただける愛称として名付けたものです。F は福武教育文化振興財団のこと、そして and の前にくるのは、地域で活動するみなさまをイメージしています。地域の一人ひとりに寄り添う財団でありたいという願いを込めています。